

質疑回答書

件名 交野市上下水道料金及び会計システム構築及び保守

番号	項目	質疑	回答
1	基本仕様書 P3 第2章.5(1)	<p>データ移行について、「現行システム内のデータについては原則全て移行することを想定する」とありますが、一般的に必要とされるデータのマスタ情報、使用者情報、検針情報、調定情報、還付情報、充当情報、発行情報、口座振替情報、分納計画情報だけでなく、変更履歴情報、メーター交換履歴や調定更正情報といった履歴情報、操作ログも必須の認識です。</p> <p>理由としては、次の通りと考えております。</p> <p>①「変更履歴情報、メーター交換履歴や調定更正情報といった履歴情報」 ⇒過去に市民の方とやりとりした情報がない場合、問い合わせ対応が困難であるため</p> <p>②「操作ログ」 ⇒万が一業務事故が発生した場合において、誰が、どのような操作をしたといった内容は必要不可欠であるため（業務事故を前提とした質問をしてしまい申し訳ございませんが、万が一を想定して必要な質問であるためご容赦ください。）</p>	お見込みのとおり。
2	基本仕様書 P3 第2章.5(3)	データの抽出作業について、第一回目のデータ抽出及び提供はいつ頃を想定されておられますでしょうか。	データ抽出の回数や時期については、令和9年2月の準備稼働に間に合うよう現行業者と調整の上、データ抽出及び移行作業を行うこと。
3	基本仕様書 P7 第3章.5(1)(エ)	<p>「過去の予算、決算値情報」が移行対象となっていますが、過去の予算とは、過去の予算実施計画、予定キャッシュフロー計算書、予定貸借、予定損益を出力できることを基本とし、その根拠となる各年度の算出基礎・予算見積根拠（例えば工事費では、●●付設工事 工事費 * * * * 円、▲▲付設替工事 工事費 * * * * 円、□□新設工事 工事費 * * * * 円）も含まれる想定していると考えてよろしいでしょうか。また、同様に過去の決算とは、過去の消費税計算及びその結果、決算報告書、収益費用明細書、損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書を出力できることを基本としてその根拠となる総勘定元帳や対象伝票の移行も含まれる想定していると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおり。</p> <p>過去の予算の算出基礎・予算見積根拠については、少なくとも直近で作成した年度の予算（1年分）の算出基礎を移行すること。</p> <p>過去の決算の根拠については、総勘定元帳を含み、対象伝票については、少なくとも前年度と前々年度を移行すること。</p>